

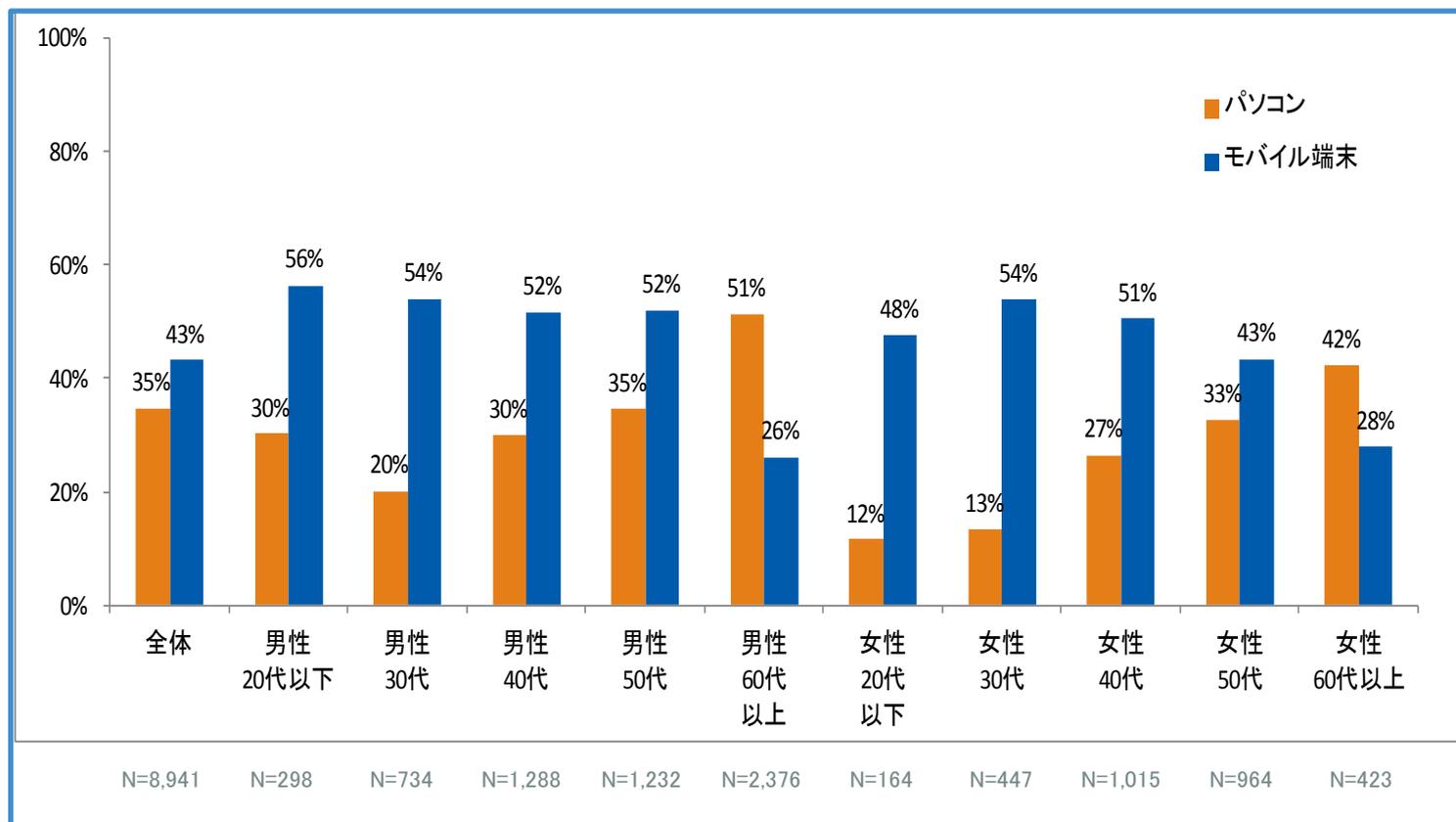
検証実験「試験的提供B」の結果について

(平成27年10月19日～11月15日実施)

<p>実験参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調査会社を通じて募集した「一般視聴者」957人 「ネットクラブ実験参加者」8,941人 <p style="text-align: right;">} 計9,898人</p>	
<p>検証項目と結果</p>	<p>①同時配信に対する視聴ニーズに関する基礎的な検証の結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「一般視聴者」のうち8.9%が同時配信を利用 「ネットクラブ参加者」のうち66.4%が同時配信を利用 平日の朝7時台、8時台にモバイル端末の利用が目立った → 朝の通勤時間帯の移動中に視聴されたのではないか。 「ネットクラブ参加者」の50代以下ではモバイル端末による視聴がパソコンによる視聴を上回った → モバイル端末をよく利用していたり、日中、外出が多い年代の方が移動中に利用されたのではないか。 「ネットクラブ参加者」のアンケートでは、57.4%が満足、94%が今後も利用したい意向
	<p>②配信基盤と関連システムとの連携の負荷や各種端末への対応状況の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> 放送と比較して25秒程度の遅延。 → 一般的なライブ動画配信と比べても大きな差はなし システムに係わるトラブルは発生しなかった
	<p>③インターネット配信のための権利処理に関する課題と対応策の運用状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 権利処理によって配信できた時間は、合計345時間57分。配信対象の時間の78% ニュースは94%、その他の番組は71%を配信 配信未実施の理由の4分の1は、番組やニュース項目に、契約上インターネット配信権なし その他、制作から長い年数が経過し、権利者への確認できず
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 28年度も、同時配信の検証実験を継続する 今回明らかになった権利確保等、様々な課題についても引き続き検討を進める 	

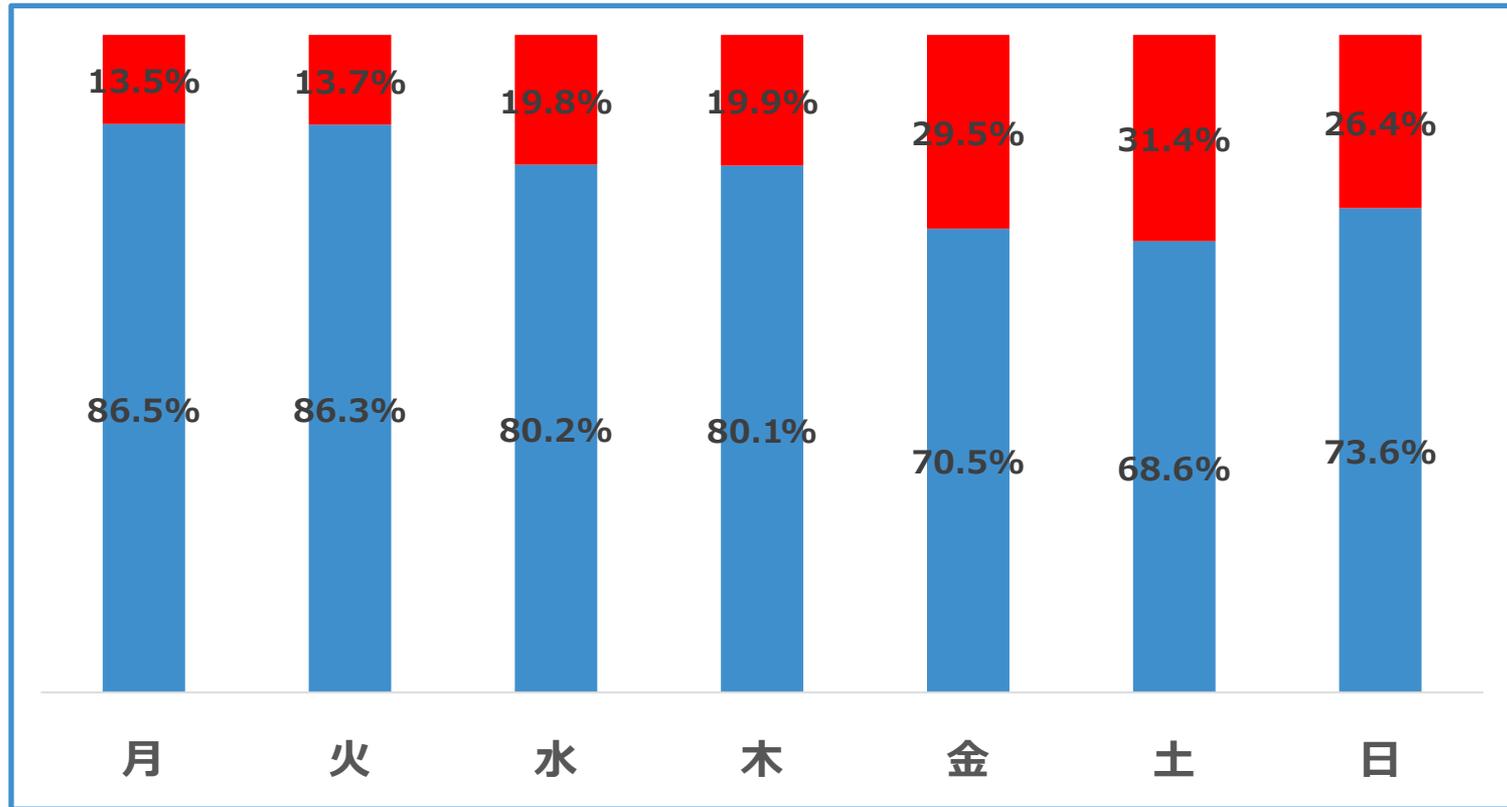
デバイス別の利用率* (性年代別・ネットクラブ実験参加者)

* 各年代の実験参加者のうち、実際にサービスを利用した方の割合
それぞれにパソコン、モバイル端末を両方利用した人を含む



- 男女50代以下では、モバイル端末（スマートフォン・タブレット）の利用がパソコンの利用を上回った。

曜日別の配信実績

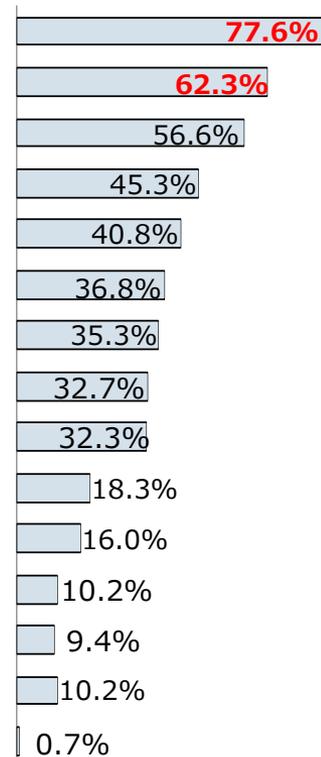


(■ = 配信実施 ■ = 配信未実施)

- 金、土、日曜日は、他の曜日に比べ、配信未実施の割合が高い
→ スポーツなど、権利処理ができなかった番組の影響

ネット同時配信サービスに今後期待すること (ネットクラブ実験参加者)

- **NHK総合以外のNHKの番組も見られるようにすること**
- **見ることができない番組をなくすこと**
- すでに放送された番組を見られること
- 民放の番組も見られるようにすること
- 深夜や早朝にも同時配信サービスを利用できること
- 配信中の番組を好きなところまで戻って見られること
- 音が出せない場所でも、字幕で分かるようにすること
- 通信費がかからない設定を選べること
- 配信中の番組を最初に戻って見られること
- 画像や音声の質を高めること
- 同時配信サービスのアプリを使いやすくすること
- 同時配信サービスのウェブサイトを使いやすくすること
- 対応する端末の種類を増やすこと
- その他 (具体的にお書きください)
- とくにない、わからない



有効回答数 = 4,301件